

3 R活動推進フォーラム令和5年度事業報告

3 R活動推進フォーラムは、循環型社会の形成・3 R推進のため、関係省のご支援を受けて、国内における普及啓発事業を実施している。

令和5年度は、新型コロナウイルス感染症が令和5年5月8日から「5類感染症」に移行したことを踏まえ、3 R推進全国大会や各種セミナーは、4年ぶりに全て会場開催により実施した（一部のものでは会場及びWEBによるハイブリット開催とした）。

また、「プラスチックに係る資源循環の促進等に関する法律」が令和4年4月1日から施行されたことを踏まえ、法律の概要や情報提供、先進事例発表等を行うためのセミナーや研修会を環境省、都道府県、会員等との連携により実施し、業界を超えたステークホルダーと共同で循環型社会構築への取組を進めていくように努めた。

I 組織運営

1. 理事会・総会

(1) 令和5年度理事会・総会

日 時：令和5年6月19日（月）13:00～15:00

開催場所：日比谷国際ビルディングコンファレンススクエア8階 8D会議室
（会場及びWEBによるハイブリット開催）

【議題】

- ①令和4年度事業報告及び収支決算（案）
- ②令和5年度事業計画及び収支予算（案）
- ③理事及び監事の選任（案）

(2) 令和5年度第2回理事会（書面決議）

令和6年3月8日（月）（理事にメールにて送付）

【議題】

- ①3 R活動推進フォーラムの活動内容及び名称の変更並びにそれに伴う規約の一部改正等について（案）
- ②「（仮称）3 R・資源循環推進フォーラム」令和6年度事業計画（案）
- ③第19回総会を書面により開催する提案（案）

(3) 令和5年度第2回総会（書面決議）

令和6年3月18日（月）（会員にメールにて送付）

【議題】

- ①3 R活動推進フォーラムの活動内容及び名称の変更並びにそれに伴う規約の一部改正等について（案）
- ②「（仮称）3 R・資源循環推進フォーラム」令和6年度事業計画（案）
- ③理事の選任について（案）

2. 企画・運営委員会

(1) 令和5年度第1回企画・運営委員会

日 時：令和5年7月31日（月）9：30～11：30

開催場所：公益財団法人廃棄物・3R研究財団 8階大会議室
（会場及びWEBによるハイブリッド開催）

【議題】

- ・令和4年度3R活動推進フォーラム企画・運営委員会活動報告について
- ・3R活動推進フォーラムの成果と今後の取組について

(2) 令和5年度第2回企画・運営委員会（書面決議）

令和5年12月13日（水）（各位委員にメールにて送付）

【議題】

- ・3R活動推進フォーラム会長あて「答申」（案）

(3) 令和5年度第3回企画・運営委員会

日 時：令和6年3月7日（木）10:00～11:30

開催場所：公益財団法人廃棄物・3R研究財団 8階大会議室
（会場及びWEBによるハイブリッド開催）

【議題】

- ・令和5年度事業報告（案）
- ・今後の活動の進め方「答申」等（報告）
- ・「(仮称) 3R・資源循環推進フォーラム」令和6年度事業計画（案）

II 会員の拡充

1. 取組

- ①環境省主催の全国廃棄物・リサイクル行政主管課長会議(令和5年6月23日(金)開催)の資料に3R活動推進フォーラムの紹介・入会案内を掲載していただいた。
- ②未入会団体等に入会案内を送付するなど広報活動に努めるとともに、市を訪問するなどして入会をお願いした。

2. 入会状況

会員の入会状況は、令和6年3月末日現在、79自治体会員と66民間団体で145団体である。（令和5年度は、新たに2自治体と2民間団体の4団体が加入）

Ⅲ 令和5年度事業概要

1. 3R推進全国大会及び関連事業

(1) 第17回3R推進全国大会（令和5年度3R推進企画運営業務）

環境省、環境省東北地方環境事務所、秋田県、及び3R活動推進フォーラムの主催による「第17回3R推進全国大会」は、10月25日（水）、秋田県で4年ぶりに現地で開催した。

第Ⅰ部の「大会式典」では、循環型社会形成推進功労者環境大臣表彰、及び3R促進ポスターコンクール最優秀賞表彰を行った。

第Ⅱ部の「記念シンポジウム」では、「循環型社会の実現に向けた共創とイノベーション ～2050年カーボンニュートラルの実現に向けて～」をテーマに、プラスチック資源循環促進法や循環経済工程表の情報提供、循環型社会の形成に向けて3R推進の必要性、今後の3R推進方策に関する理解を深めるため講演とパネルディスカッションを行った。

関連イベントとして、幅広い関係者による3R・循環型社会形成の取組を紹介する展示コーナーや施設見学会を実施した。

また、開催終了後に第17回3R推進全国大会の紹介ページからYouTubeでアーカイブ配信を開始した。

【開催概要】

- ・開催日時：令和5年10月25日（水）13：00～16：30
- ・開催会場：あきた芸術劇場ミルハス（中ホール） 秋田県秋田市千秋明德町2-52
- ・開催団体：環境省・環境省東北地方環境事務所、秋田県、3R活動推進フォーラム
- ・参加者： 236名

（プログラム）

■第Ⅰ部「大会式典」 13:00～14:20

◇主催者挨拶

- 角倉一郎環境省環境再生・資源循環局次長
- 神部秀行秋田県副知事
- 細田衛士3R活動推進フォーラム会長

◇来賓挨拶

- 北林丈正秋田県議会議長

◇表彰式

- 循環型社会形成推進功労者環境大臣表彰
- 3R促進ポスターコンクール最優秀賞表彰

◇記念撮影

■第Ⅱ部「記念シンポジウム」 14:20～16:30

「循環型社会の実現に向けた共創とイノベーション
～2050年カーボンニュートラルの実現に向けて～」

◇【基調講演】

「3R・循環経済の加速化に向けて」

- 3R活動推進フォーラム会長、東海大学副学長・政治経済学部経済学科教授、
慶應義塾大学名誉教授、中部大学名誉教授 細田 衛士氏

◇【パネルディスカッション】

「循環型社会の実現に向けた共創とイノベーション」

(コーディネーター)

- 3R活動推進フォーラム副会長、NPO 法人持続可能な社会をつくる元気ネット顧問
崎田 裕子氏

(パネリスト)

- | | |
|-----------------------------|--------|
| ○秋田エコプラッシュ株式会社専務取締役 | 小泉 剛氏 |
| ○認定特定非営利活動法人環境あきた県民フォーラム理事長 | 佐藤 充氏 |
| ○総合地球環境学研究所教授 | 浅利 美鈴氏 |
| ○秋田県生活環境部環境整備課長 | 大門 洋氏 |
| ○環境省環境再生・資源循環局循環型社会推進室長 | 近藤 亮太氏 |

◇関連イベント

ア 3R推進展示コーナー 10月25日(水) 12:00~16:45

あきた芸術劇場ミルハス 中ホール入口に続くメインホワイエに、3R推進展示コーナーを設けた。令和5年度3R促進ポスターコンクールに入賞した55作品の展示のほか、循環型社会形成に関連する先進的な取組の展示コーナーには24団体が出展し、取組などを紹介した。

【出展者】(順不同)

- 環境省、○秋田県生活環境部温暖化対策課、○秋田県産業労働部クリーンエネルギー産業振興課、○3R活動推進フォーラム/公益財団法人廃棄物・3R研究財団、○リデュース・リユース・リサイクル推進協議会、○NPO 法人持続可能な社会をつくる元気ネット、○3R推進団体連絡会 ○ガラスびん3R促進協議会、○PETボトルリサイクル推進協議会、○紙製容器包装リサイクル推進協議会、○プラスチック容器包装リサイクル推進協議会、○スチール缶リサイクル協会、○アルミ缶リサイクル協会、○飲料用紙容器リサイクル協議会、○段ボールリサイクル協議会、○秋田エコプラッシュ株式会社、○認定 NPO 法人環境あきた県民フォーラム、○株式会社ナチュラルエナジージャパン、○ユナイテッド計画株式会社、○DOWAエコシステム株式会社、○長野県、○公益社団法人食品容器環境美化協会、○一般社団法人全国容器循環協議会、○一般社団法人プラスチック循環利用協会

イ 施設見学会 10月26日(木) 9:15~12:00

秋田洋上風力発電および秋田バイオガス発電所を視察した。

秋田洋上風力発電では、国内初となる商業ベースでの大型洋上風力発電施設について、秋田港のAOW風みらい館で説明をいただいたのち、ポートタワー・セリオンの展望室から風力発電の様子を見学した。

秋田バイオガス発電所では、食品廃棄物をメタン発酵させて生成したバイオガスで発電する工程について説明をいただき、施設の見学を行った。

①秋田洋上風力発電AOW風みらい館 (&ポートタワーセリオン)

所在地：秋田県秋田市土崎港西1丁目10-45 (秋田ベイパラダイス内1階)

②秋田バイオガス発電（株）ナチュナルエナジージャパン）

秋田県秋田市向浜一丁目3番7号

○参加者32名（大型バス2台で移動）

（2）3R促進ポスターコンクール（令和5年度3R推進企画運営業務）

環境省と3R活動推進フォーラムでは、循環型社会の実現に向けて、毎年「3R促進ポスターコンクール」を実施している。

公募は、小学生低学年、小学生中学年、小学生高学年、中学生の部の4部門で行われ、令和5年度3Rポスターコンクールには、全国から合計5,312点の応募があった。

審査の結果、各部門で最優秀賞1点、優秀賞3点、佳作10点が選定された（中学生のみ優秀賞は2点とした）。

【応募数】

| | |
|--------------------|--------|
| 小学生低学年の部（小学校1～2年生） | 627点 |
| 小学校中学年の部（小学校3～4年生） | 1,821点 |
| 小学校高学年の部（小学校5～6年生） | 1,650点 |
| 中学生の部 | 1,214点 |
| （合計） | 5,312点 |

①募集期間

令和5年5月23日～9月8日

②応募作品到着

令和5年8月下旬～9月8日（締め切り）

③1次審査会（廃棄物・3R研究財団 8階大会議室）

令和5年9月15日（金）

④2次審査会（すみだ産業会館 会議室1.2）

令和5年9月20日（水）

（3）循環型社会形成推進功労者環境大臣表彰（令和5年度3R推進企画運営業務）

循環型社会形成推進功労者を表彰する制度は、廃棄物の発生量の抑制（リデュース）、再使用（リユース）、再生利用（リサイクル）の適切な推進に顕著な功績があった個人、企業、団体を表彰し、その功績をたたえるとともに、循環型社会の形成の推進に資することを目的に、毎年環境省が実施しているもので、令和5年度は合計11件が受賞した。

なお、表彰式は第17回3R推進全国大会式典の席で行われた。

【表彰者】

| | |
|---------------|-----|
| ・3R活動優良企業 | 5件 |
| ・3R活動推進功労（団体） | 5件 |
| ・3R活動推進功労（個人） | 1件 |
| （合計） | 11件 |

（4）環境省主催地方セミナー（令和5年度3R推進企画運営業務）

プラスチックごみ問題、気候変動問題、諸外国の廃棄物輸入規制強化等への対応がますます重要になっていること等を踏まえ、政府においては、「循環型社会形成推進基本計画」や「プラスチック資源循環戦略」等の施策が策定されるとともに、令和4年4月には「プラスチックに係る資源循環の促進等に関する法律」が施行された。

こうした状況を踏まえ、国民の皆様はじめ関係者の皆様にこれらの周知徹底を図り、各主体が具体的に行動を起こしていただくための情報を提供するため、環境省主催の3R推進地方セミナーを開催した。

① 2023年度 環境省主催3R推進地方セミナー（さいたま市）

「さいたま市の食品ロス削減に向けた取組」

- ・開催日時：令和5年11月20日（月）13:30～16:30
- ・開催会場：埼玉会館 7A会議室
- ・開催主体：環境省、さいたま市、3R活動推進フォーラム
- ・参加者：45名

<基調講演>

○「地域における食品ロス削減の実践」

環境省環境再生・資源循環局総務課リサイクル推進室 室長補佐 金井 信宏氏

<事例発表>

(1) 「さいたま市食品ロス削減プロジェクト！！」

さいたま市役所環境局資源循環推進部 資源循環政策課長 永堀 恵氏

(2) 「若い世代の声を聴いて食品ロス削減へ～自治体・企業・大学と連携して～」

NPO 法人持続可能な社会をつくる元気ネット理事長・環境カウンセラー 鬼沢 良子氏

(3) 「自治体と連携した食品ロスへの取り組み」

学校法人早稲田医療学園人間総合科学大学 事務局長 井上 雅之氏

② 2023年度 環境省主催3R推進地方セミナー（岩手県）

「プラスチックリサイクルの取組」

- ・開催日時：令和6年1月22日（月）13:30～16:30
- ・開催会場：マリオス 188 会議室
- ・開催主体：環境省、岩手県、3R活動推進フォーラム
- ・参加者：49名

<基調講演>

○「プラスチック資源循環法の概要と最近の動向」

環境省環境再生・資源循環局総務課リサイクル推進室 室長補佐 辻 景太郎氏

<事例発表>

(1) 「製品プラスチック一括回収・リサイクルについて」

仙台市環境局廃棄物事業部廃棄物企画課長 向井 晃之 氏

(2) 「プラスチックごみ一括回収の取り組みについて」

稲城市都市環境整備部生活環境課長 渡邊 瑞 氏

(3) 「プラ新法～プラスチックの再資源化を一関市と共に！」

ニッコー・ファインメック株式会社 取締役専務 熊谷 裕徳 氏

2. 連携・協働事業

(1) 3R推進団体連絡会との共催による「容器包装交流セミナー」

容器包装の3R・資源循環をテーマに、市民、自治体、事業者などのステークホルダーが一堂に会し、それぞれの取組事例報告や、忌憚のない意見交換を通して、相互の信

頼を深め、連携・協働を進める容器包装の3R・資源循環ワークショップを全国で開催している。

本ワークショップは、容器包装の3R・資源循環に関する最新情報を共有し、改善・向上すべき課題などについて意見交換する場としている。

開催終了後に「容器包装セミナー報告書 2023」を作成し全国の自治体に配布。

① 第25回容器包装交流セミナー（市民・自治体と事業者の意見交換 in 札幌）

開催日時：令和5年7月13日（木）13:00～16:45

開催会場：札幌駅前ビジネススペース2A

開催主体：3R推進団体連絡会、3R活動推進フォーラム

参加者：46名

【事例報告】

- 「札幌市の一般廃棄物処理基本計画とごみ減量に向けた取組について」
札幌市環境局環境事業部循環型社会推進課長 末永保範氏
- 「北海道の容器包装リサイクルと簡素化の取組み」
北海道容器包装の簡素化を考える会 石塚裕江氏
- 「容器包装の3Rに関する最新情報」
3R推進団体連絡会 幹事 久保直紀氏

【意見交換会】

3グループに15人程度が分かれて意見交換

②第26回容器包装交流セミナー（市民・自治体と事業者の意見交換 in 松江）

開催日時：令和5年11月8日（水）13:30～16:45

開催会場：島根県立産業交流会館くにびきメッセ 501会議室

開催主体：3R推進団体連絡会、3R活動推進フォーラム

参加者：45名

【事例報告】

- 「松江市の取り組み ～持続可能な街の実現に向けて～」
松江市環境エネルギー部環境対策課長 長谷川 和弘氏
- 「NPO 法人コアラッチの「3R」活動」
特定非営利活動法人コアラッチ 理事長 常國 文江氏
- 「容器包装3R推進のための自主行動計画2025 ～2021年度実績フォローアップ報告～」
3R推進団体連絡会 幹事 久保 直紀氏

【意見交換会】

3グループに15人程度が分かれて意見交換

③第27回容器包装交流セミナー（市民・自治体と事業者の意見交換 in 宇都宮）

開催日時：令和6年2月21日（水）13:00～16:45

開催拠点：ライトキューブ宇都宮4階 401～403会議室

開催主体：3R推進団体連絡会、3R活動推進フォーラム

参加者：48名

【事例報告】

- 「宇都宮市の3Rの取組 ～カーボンニュートラルなまちを目指して～」

宇都宮市ごみ減量課長 三代 浩嗣氏

○「取組報告」

NPO 団体 De nada (デナダ) 代表 増渕 弘子氏

○「容器包装 3R 推進のための自主行動計画 2025 ～2022 年度実績フォローアップ報告～」
3R 推進団体連絡会 幹事 久保 直紀氏

【意見交換会】

3 グループに 15 人程度が分かれて意見交換

(2) 持続可能環境センターとの連携

現在及び将来世代が豊かな環境の恵沢を享受するとともに、人類の存続の基盤である環境が将来にわたって持続するよう、家庭・企業・コミュニティ等において必要な知見を体系化及び共有し、活動の輪を広げるための教育・人材育成プログラムを構築・維持することを目的に活動しており、この活動を当フォーラムが協力。

①第 16 回 3R・低炭素社会検定試験講習開催 運營業務（関東地区：東京会場）

開催日時：令和 5 年 10 月 15 日（日）

3R コース 9：30～12：30

低炭素社会コース 13：30～16：30

開催場所：（公財）廃棄物・3R 研究財団 8 階大会議室
（オンラインを合わせたハイブリット開催）

開催主体：3R・低炭素社会検定 検定事務センター

②第 15 回 3R・低炭素社会検定試験開催 運營業務（関東地区：東京会場）

開催日時：令和 5 年 11 月 12 日（日）

開催会場：有明セントラルタワー ホール&カンファレンス 定員 120 名

開催主体：3R・低炭素社会検定 検定事務センター

受験者：午前 61 名 午後 61 名

(3) リデュース・リユース・リサイクル推進協議会との連携

○セミナー名：「循環・3R リレーセミナー」

「異業種連携による資源循環の取組」をサブテーマとして、4 年ぶりに会場メインの開催とした。

セミナーでは、3R、循環経済、資源循環の動向や取組について、基調講演、関係省の施策、企業の実践事例の講演が行われ、情報を共有し、質疑応答と併せてより高度な循環型社会を目指すヒントを提供した。

開催日時：令和 6 年 2 月 16 日（金）13:30～17:00

開催会場：AP 東京八重洲 X ルーム（オンラインを合わせたハイブリット開催）

開催主体：3R 活動推進フォーラム、リデュース・リユース・リサイクル推進協議会
参加者：78 名

【基調講演】

「サーキュラーエコノミー ～新しい連携協力のあり方～」

○3R 活動推進フォーラム会長、リデュース・リユース・リサイクル推進協議会会長 / 東海大学副学長・
政治経済学部経済学科教授/慶應義塾大学名誉教授/中部大学名誉教授 細田 衛士氏

【話題提供】

- 「環境省における CE に向けた取組み」
環境省環境再生・資源循環局総務課循環型社会推進室長 近藤 亮太氏
- 「農林水産省における資源循環の取組」
農林水産省大臣官房新事業・食品産業部外食・食文化課食品ロス・リサイクル対策室課長補佐 石尾 尚司氏
- 「成長志向型の資源自律経済戦略と今後の資源循環経済政策」
経済産業省産業技術環境局資源循環経済課長 田中 将吾氏
- 【事例報告】
- 「ラベル台紙の水平リサイクル「資源循環プロジェクト」」
日榮新化株式会社 企画開発室 専任課長 本池 高大氏
- 「高岡市脱炭素先行地域の太陽光パネルで奏でる Circular Economy」
ハリタ金属株式会社 代表取締役社長 張田 真氏

(4) 廃棄物・3R研究財団&3R活動推進フォーラム年次報告会

令和5年度の廃棄物・3R研究財団及び3R活動推進フォーラム主催の年次報告会にて、3R活動推進フォーラムの活動報告と今後の方向性について報告をした。

開催日時：令和5年10月31日（火） 13:00～16:10

（オンラインをあわせたハイブリット開催）

開催会場：KFCビル Room101～103 での対面とオンライン

開催主体：公益財団法人廃棄物・3R研究財団、3R活動推進フォーラム

参加者：会場参加48名 オンライン参加60名 計108名

(5) スチール缶リサイクル協会との連携

①2023年度第1回散乱防止・美化キャンペーン

令和5年第1回目の「散乱防止・美化キャンペーン」として、宮城県仙台市荒浜海岸で海岸清掃を行った。その後、JR仙台駅ペDESTリアンデッキにおいて、啓発活動を行った。

開催日時：令和5年6月11日（日）

開催場所：宮城県仙台市荒浜海岸、JR仙台駅ペDESTリアンデッキ

②2023年度第2回（第513回）散乱防止・美化キャンペーン

大分市で翌日（2月4日（日））開催される「別府大分毎日マラソン」の大会前一斉清掃イベントに参加し、マラソンコースとなる国道周辺の清掃を行った。終了後はJR大分駅前に移動して啓発活動を行った。

開催日時：令和6年2月3日（土）

開催場所：大分市都町昭和通り、JR大分駅

(6) (公財)日本環境協会 こどもエコクラブ全国事務局との連携

次代を担う子どもたちのコミュニケーションの能力、課題発見、解決能力、多様性を受容できる力、新しい価値を生み出す力など「未来を創る力」を育む活動を支援することにより、持続可能な地域社会づくりに貢献する目的で加入している。

令和5年度は、3R促進ポスターコンクール募集の掲載協力依頼などを行った。

(7) (一社)産業環境管理協会（資源リサイクル促進センター）との連携

夏休み期間中に、小中学生を対象として、3Rについて考えてもらうため、自分の心や頭で感じたこと、考えたことを話したり、ごみを減らす3Rのアイデアやサステイナ

ブルな未来を、色や形で表現して、ポスターにしてみようという講座を開設した。

セミナー名：「夏休み SDGs チャレンジ 3R ポスターを描こう」

開催日時：令和5年7月26日（水）午前の部 10:30～ 午後の部 14:30～

開催会場：地球環境パートナーシッププラザ（GEOC）セミナースペース

3. 実務講座・相談事業

（1）プラスチック資源循環研修会

「プラスチックに係る資源循環の促進等に関する法律」に関する情報の提供や意見交換を通して、市町村、市民、事業者など関係各主体の取組みを推進するために、最新情報を共有するとともに、プラスチック資源循環の円滑な運用に向けた相互理解の深化と連携・交流の新たな展開に役立てることを目的に、環境省及び経済産業省の協力を得て開催した。

□開催主体：プラスチック容器包装リサイクル推進協議会、PETボトルリサイクル推進協議会、3R活動推進フォーラム、（公財）廃棄物・3R研究財団

①令和5年度 プラスチック資源循環研修会 札幌

開催日時：2023年7月14日（金）13:00～16:00

開催会場：札幌駅前ビジネススペース2J（オンラインをあわせたハイブリッド方式）

参加者：82名（現地参加者24名）

《講話》

○「今後の循環経済と脱炭素の方向は」

公益財団法人廃棄物・3R研究財団 理事長 梶原成元氏

《講義》

○「成長志向型の資源自律経済戦略と今後の資源循環経済政策」

経済産業省産業技術環境局資源循環経済課 総括課長補佐 吉川泰弘氏

○「プラスチック資源循環法の概要と最近の動向」

環境省環境再生・資源循環局総務課リサイクル推進室 室長補佐 矢野克典氏

○「PETボトル資源循環の動向」

PETボトルリサイクル推進協議会 専務理事 小松郁夫氏

○「プラスチック資源循環の動向」

プラスチック容器包装リサイクル推進協議会 専務理事 久保直紀氏

②令和5年度 プラスチック資源循環研修会 松江

開催日時：令和5年11月9日（木）13:00～16:00

開催会場：島根県立産業交流会館くにびきメッセ401会議室（オンラインをあわせたハイブリッド方式）

参加者：58名（現地参加者17名）

《講話》

○「脱炭素と循環経済の動向 カーボンニュートラル＋サーキュラーエコノミー」

公益財団法人廃棄物・3R研究財団 理事長 梶原成元氏

《講義》

- 「成長志向型の資源自律経済戦略と今後の資源循環経済政策」
経済産業省産業技術環境局資源循環経済課 総括課長補佐 吉川泰弘氏
- 「プラスチック資源循環法の概要と最近の動向」
環境省環境再生・資源循環局総務課リサイクル推進室 係長 喜久川裕起氏
- 「PETボトル資源循環の動向」
PETボトルリサイクル推進協議会 専務理事 小松郁夫氏
- 「プラスチック容器包装の環境配慮・資源循環の取組み」
プラスチック容器包装リサイクル推進協議会 専務理事 久保直紀氏

- ③令和5年度 プラスチック資源循環研修会 宇都宮
開催日時：令和6年2月22日（木）13:00～16:00
開催拠点：ライトキューブ宇都宮1階 107・108会議室（オンラインをあわせたハイブリッド方式）
参加者：92名（現地参加23名）

《講話》

- 「脱炭素と循環経済の動向 カーボンニュートラル+サーキュラーエコノミー」
公益財団法人廃棄物・3R研究財団 理事長 梶原成元氏

《講義》

- 「成長志向型の資源自律経済戦略と今後の資源循環経済政策」
経済産業省産業技術環境局資源循環経済課 総括課長補佐 吉川泰弘氏
- 「プラスチック資源循環法の概要と最近の動向」
環境省環境再生・資源循環局総務課リサイクル推進室 室長補佐 辻 景太郎氏
- 「PETボトル資源循環の動向」
PETボトルリサイクル推進協議会 専務理事 小松郁夫氏
- 「プラスチック容器包装の環境配慮・資源循環の取組み」
プラスチック容器包装リサイクル推進協議会 専務理事 久保直紀氏

(2) 講師派遣

- ①東京二十三区清掃一部事務組合令和5年度技術講演会
テーマ：「3R活動の現状と今後の課題」
開催日時：令和5年12月8日（金）15:25～16:35
会場：東京区政会館 20階 会議室（201室～203室）
聴講者：東京二十三区清掃一部事務組合職員 65名
講演者：3R活動推進フォーラム 専任理事 宇仁菅 伸介

4. 広報普及事業

(1) ホームページやメルマガを通じた普及啓発活動

- ①ホームページの活用
バナーの更新をこまめに実施するほか、ホームページ上での告知をわかりやすい表現にするほか、参加者を募集するイベントなど、視覚で惹きつけるような工夫を行った。

② 3 R ・ 廃棄物 NEWS 配信（メルマガ）

関係省庁、都道府県、政令指定都市、会員団体等の情報を月 2 回配信。

（配信登録者約 6,500 件（令和 6 年 3 月時点））

配信後、イベントの申込数が増加傾向となるので、今後も積極的に配信していく。

③ ポスターの作成

3 R 活動推進フォーラムの活動内容説明ポスターを作成し、3 R 推進全国大会の展示コーナーや容器包装交流セミナーの会場などに掲示した。

④ 3 R 推進月間用ポスターを通じた 3 R 啓発

環境省と実施している令和 4 年度の 3 R 促進ポスターコンクールの入賞作品を使った 3 R 推進月間用ポスターを利用できるよう WEB 及びメールマガジンで広報した。

（2）会員向けサービス

① 事務局通信の配信

事務局通信を年 4 回配信し、事業の企画や業務執行の状況等会員に随時報告した。

3 R 活動推進フォーラムの情報のほか、3 R ・ 循環経済に関する取組や書籍の紹介や環境問題に取り組む企業の取組なども掲載するように内容の充実に努めた。

② 動画配信の開始

当フォーラムの理事会・総会での細田会長の基調講演などを会員向けサイトから YouTube 動画で閲覧可能とした。

（3）3 R 促進ポスターコンクール展示会を通じた 3 R 推進普及活動

若年層への 3 R 推進啓発普及に資するため、令和 5 年度ポスターコンクールの最優秀作品、優秀作品全 16 点の展示を以下のとおり行った。

開催日時：令和 5 年 7 月 26 日（水）に開催した「夏休み SDGs チャレンジ 3 R ポスターを描こう」の企画に合わせ展示（7 月 1 日（土）～7 月 29 日（火））

開催会場：地球環境パートナーシッププラザ（GEOC）セミナースペース

（4）後援、協賛、協力等

① 第 17 回「小・中学校における環境教育推進支援事業」

- ・ 後援申請団体：スチール缶リサイクル協会
- ・ 目的：国民の環境意識向上に資するため、優れた実践的環境教育をおこなう小学校及び中学校を支援することで社会に貢献する。
- ・ 支援・表彰の対象：小・中学校 60 校程度
- ・ 募集期間：令和 5 年 6 月 1 日～10 月 31 日

② 令和 5 年度建設副産物リサイクル広報用ポスター

- ・ 後援申請団体：建設副産物リサイクル広報推進会議
- ・ 目的：建設副産物のリサイクル推進の必要性及びリサイクルへの取組の一般市民への PR 並びに工事関係者への意識高揚
- ・ ポスター掲出期間：令和 5 年 10 月 1 日～令和 6 年 9 月 30 日
- ・ ポスター掲出場所：国土交通省、地方自治体等

③ 2023 建設リサイクル技術発表会・技術展示会

- ・後援申請団体：建設副産物リサイクル広報推進会議
- ・目的：循環経済の形成に向け、建設業団体及び関係機関が一体となって建設副産物のリサイクル推進の取組について、産官学及び一般市民に対して普及啓発する
- ・開催日時：令和5年12月6日～7日（技術発表会・展示会）
- ・開催会場：ポートメッセなごや

④第19回産業廃棄物と環境を考える全国大会

- ・協賛申請団体：公益社団法人全国産業資源循環連合会
- ・目的：行政、排出事業者等の関係者に産業廃棄物処理業に対する理解を深めていただくなど、産業廃棄物の適正処理や資源循環の取組を促進
- ・開催日時：令和5年11月10日
- ・開催会場：グランドニッコー東京 台場 パレロワイヤル

⑤第18回容器包装3R推進フォーラム

- ・後援申請団体：3R推進団体連絡会
- ・事業内容：国の容器包装施策の動向説明、学識経験者からの基調講演、事業者・自治体からの事例報告及びパネルディスカッション
- ・開催日時：令和6年2月2日
- ・開催会場：専売ホール

⑥ニュースレター「R」でつながる」編集協力

- ・協力申請団体：一般社団法人 持続可能環境センター
- ・事業内容：3R・低炭素検定合格者へむけた毎月配信の情報レター

(5) Rマーク表示の啓発普及

3R活動推進フォーラムでは、前身の「ごみ減量化推進国民会議」が平成7年6月に定めた再生紙普及のためのRマーク（再生紙使用マーク）について、環境省が策定した環境表示ガイドラインの表示方法等と併せて広報に努めた。

①ホームページでの普及啓発

Rマークのロゴをダウンロードできるようにするとともに、使用にあたっての留意事項等を掲載。

②問い合わせへの対応

Rマークについて、掲載方法や掲載物に関する電話などでの問い合わせ、教材への掲載方法についての問い合わせなどに対応した。

《Rマーク表示例》

平成20年1月に環境省から公表された「環境表示ガイドライン」では、消費者を混乱させないため、Rマークの近辺やウェブサイトなどに、下記表示例のように利用方法について説明文を加えて表示することが望ましいとされている。



この製品は、古紙パルプ配合率100%の再生紙を使用しています。このマークは、3R活動推進フォーラムが定めた表示方法に則って自主的に表示しています。

(別表)

3 R活動推進フォーラム事業（令和5年度）

| 月 | 理事会・総会、企画運営委員会の開催、セミナー開催、広報等 | 表彰関係事務、連携事業への協力、後援等 |
|----|--|---|
| 4月 | <input type="checkbox"/> 事務局通信 No74 発行 | <input type="checkbox"/> 令和5年度循環型社会形成推進功労者環境大臣表表彰推薦依頼 <input type="checkbox"/> 連携・協働セミナー、実務講座等の開催についての意向調査 |
| 5月 | <input type="checkbox"/> 3 R活動推進フォーラム活動内容説明ポスターを作成 | <input type="checkbox"/> 令和5年度全国都市清掃会議定時総会出席（展示コーナーへの出展） <input type="checkbox"/> 令和5年度3 R促進ポスターコンクールの募集開始 |
| 6月 | <input type="checkbox"/> 3 R活動推進フォーラム第18回理事会・総会開催 <input type="checkbox"/> 同 細田会長講演動画配信開始 | <input type="checkbox"/> 2023年度第1回散乱防止・美化キャンペーン（仙台）参加 <input type="checkbox"/> スチール缶リサイクル協会主催の第17回「小・中学校における環境教育推進支援事業」への後援 <input type="checkbox"/> 持続可能環境センター（3 R・低炭素社会検定）総会・運営委員会 |
| 7月 | <input type="checkbox"/> 第25回 容器包装の3 Rに関する市民・自治体・事業者との意見交換会 ～容器包装交流セミナー in 札幌～ <input type="checkbox"/> 令和5年度プラスチック資源循環研修会 札幌 【プラスチック資源循環法・制度の概要と市町村・事業者の対応】 <input type="checkbox"/> 夏休みSDGs チャレンジ「3 Rポスターを描こう」 <input type="checkbox"/> 事務局通信 No75 発行 <input type="checkbox"/> 3 R活動推進フォーラム第1回企画・運営委員会 | <input type="checkbox"/> 3 R促進ポスターコンクール展示（地球環境パートナーシッププラザ） |
| 8月 | <input type="checkbox"/> 第17回3 R推進全国大会第1回実行委員会 | |
| 9月 | <input type="checkbox"/> 事務局通信 No76 発行 | <input type="checkbox"/> 3 R促進ポスターコンクール1次審査会 <input type="checkbox"/> 3 R促進ポスターコンクール2次審査会 <input type="checkbox"/> 循環型社会形成推進功労者環境大臣表彰選考委員会 <input type="checkbox"/> 持続可能環境センター運営委員会参加（WEB） |

| | | |
|-----|---|--|
| 10月 | <input type="checkbox"/> 第17回3R推進全国大会第2回実行委員会 <input type="checkbox"/> 第17回3R推進全国大会（秋田県） 「循環型社会の実現に向けた共創とイノベーション ～2050年カーボンニュートラルの実現に向けて～」 <input type="checkbox"/> 廃棄物・3R研究財団&3R活動推進フォーラム年次報告会で報告 | <input type="checkbox"/> 令和5年度建設副産物リサイクル広報用ポスター 後援 <input type="checkbox"/> 3R・低炭素社会検定試験対策講習会の運営協力（会場貸出・補助） |
| 11月 | <input type="checkbox"/> 2023年 環境省主催3R推進地方セミナー（さいたま市） 「さいたま市の食品ロス削減に向けた取組」 <input type="checkbox"/> 第26回 容器包装交流セミナー ～容器包装の3R・資源循環ワークショップ～ 市民・自治体・事業者の意見交換 in 松江 <input type="checkbox"/> 令和5年度 プラスチック資源循環研修会 松江 【プラスチック資源循環法・制度の概要と市町村・市民・事業者の対応】 | <input type="checkbox"/> 第16回3R・低炭素社会検定試験の運営協力（監督他） <input type="checkbox"/> （公社）全国産業資源循環連合会ほか主催による第19回「産業廃棄物と環境を考える全国大会」への協賛 |
| 12月 | <input type="checkbox"/> 3R活動推進フォーラム第2回企画・運営委員会（書面決議） <input type="checkbox"/> 東京二十三区清掃一部事務組合令和5年度技術講演会 | <input type="checkbox"/> 建設副産物リサイクル広報推進会議主催による「2023建設リサイクル技術発表会・技術展示会」への後援 |
| 1月 | <input type="checkbox"/> 第17回3R推進全国大会第3回実行委員会 <input type="checkbox"/> 2023年度 環境省主催3R推進地方セミナー（岩手県） 「プラスチックリサイクルの取組」 <input type="checkbox"/> 事務局通信 No77 発行 | |
| 2月 | <input type="checkbox"/> 【会員向け】循環・3Rリレーセミナー 「異業種連携による資源循環の取組」 <input type="checkbox"/> 第27回 容器包装交流セミナー ～容器包装の3R・資源循環ワークショップ～ 市民・自治体・事業者の意見交換 in 宇都宮 <input type="checkbox"/> 令和5年度 プラスチック資源循環研修会 宇都宮 【プラスチック資源循環法・制度の概要と市町村・市民・事業者の対応】 | <input type="checkbox"/> 第513回散乱防止・美化キャンペーン（大分）参加 <input type="checkbox"/> 3R推進団体連絡会主催「第18回容器包装3R推進フォーラム」への後援 |
| 3月 | <input type="checkbox"/> 3R活動推進フォーラム第3回企画・運営委員会 <input type="checkbox"/> 3R活動推進フォーラム第2回理事会（書面決議） <input type="checkbox"/> 3R活動推進フォーラム第2回総会（書面決議） | |

（備考）

・以上の他、メールマガジン「廃棄物・3RNEWS」を月2回配信、ニュースレター「「R」でつながる」を月1回編集協力